

2022年 TDA Zoom in Textile 履歴&プラン (4月~12月)

通年テーマ：『激変する時代の中、これからのテキスタイルのあり方』

2022年テーマ： 聴講者とTDAメンバーがリクエスト！今、お話を聞きたい講師 BEST

2022.03吉日

	日付		テーマ		講師	プロフィール	推薦者	
	月別	時間	種別	概要				
①	4月6日 第2水曜日	17:30~18:20	インテリア	「人を幸せにするテキスタイル」を取材した住宅の事例により紐といていきます。テキスタイルがリアルな暮らしの中でどのように使われているのか。海外の有名クリエイターや、感度の高い国内の住宅の事例をふんだんにお見せして、これからの暮らしを見据えたテキスタイルのつくる幸福感を皆様とシェアします。	加藤登紀子氏		東京生まれ。日本女子大学卒業。エディター、ライター。ライフワークは「住む人を幸せにするインテリア」。幅広いネットワークにより国内外の1,100軒以上の住宅を取材し、ライフスタイル誌等へ寄稿。近著「心をととのえるインテリア」は重版を繰り返している。また、「デザインオフィスシュエット」を主宰し、住宅・商業施設のインテリアデザインを手掛ける。	矢澤氏 (山本氏)
		18:30~19:20	インテリア	サステナブルな商品が注目されはじめ、さらに心地よく上質なものを求める人が増えたことで、天然繊維でつくられたインテリアファブリックに注目が集まっています。海外ブランドの最新のサステナブルなものづくりについて、また天然素材への新たなアプローチに加え、日本の工場と協力してオリジナルで開発した生活を豊かにするナチュラルなファブリックをご紹介します。	(株)チェルシー インターナショナル		チェルシーインターナショナルは居心地よく、気持ち安らぐインテリア空間を創造します。カーテンをはじめとした皆さまの窓辺やお部屋のスタイリング、コーディネートのお手伝いをいたします。暮らしを美しく彩る、高いデザイン性と上質なファブリックを幅広く取り揃えております。また上質なインテリア空間を創造するために不可欠な、素材の提案から、縫製、加工、施工、メンテナンスに至るまでご相談を承ります。	
②	5月18日 第4水曜日	17:30~18:20	プロデュース	新型コロナの拡大から、強制的なブレーキもありましたが同じくらい新しいアクションも生まれました。これからの繊維産地を見据えた、各産地・各企業の新しいチャレンジをご紹介しますと思います。	宮浦晋哉氏		2012年より「日本のものづくりの発展と創出を目指す」キュレーション事業を開始。デザインと技術のマッチング、デザイナーズブランドの生産サポート、繊維産地の活性化事業、プロデュース業務を行う。2016年名古屋芸術大学特別客員教授。2017年、繊維・ファッション業界での人材育成を目指す「産地の学校」を開校。2020年、国内テキスタイルを集めた合同ショールーム「TEXTILE JAPAN」を立ち上げる。テキスタイルの輸出、新規事業支援なども行う。	大高氏 田中氏
		18:30~19:20	アパレル ファブリックス	時代が変化していくなかで、日本の製造業も過去の知見を生かしながら未来に向けて新しい活動が高まっています。産地がD to C転換やグローバルに販売していくことに挑戦する理由や葛藤、そしてどんな成長や希望を生み出しているのか。実際の産地現場と市場で挑戦している内容を中心に、これからのテキスタイルデザインの役割や可能性をお伝えしていきます。	梶原加奈子氏		KAJIHARA DESIGN STUDIO代表、TDA正会員 多摩美術大学卒業後(株)イッセイミヤケ企画を経て渡英。 Royal College of Artファッション&テキスタイルデザイン修士課程終了。 KAJIHARA DESIGN STUDIO INC設立。日本産地のブランディングや素材開発、グローバル発信に関わる。工場のD to C企画販売を支援する「CRAHUG」の監修を担当。	
③	6月15日 第3水曜日	17:30~19:20	地場産業	地場産業の中小零細企業を対象にした「みんなの地域産業協業活動」は"コト(その企業が培ってきた技術や課題を考察する)・モノ(お互いに協力してリスクも持ち合い、商品開発を行う)・ミチ(開発後、流通までをプロデュースする)をデザインすることで成り立っているCEMENT独自のモノづくり事業です。確かな技術でモノづくりを行い、それを守りながら継承し、発展させようとされている方々を応援したいという気持ちから、この事業は生まれました。フォルムデザインの提供だけでは解決していかないコトを事例や実績を交えてお話しさせていただきます。	金谷勉氏		有限会社セメントプロデュースデザイン 代表取締役社長 クリエイティブディレクター京都精華大学人文学部を卒業後、企画制作会社に入社。広告制作会社勤務を経て、1999年にデザイン会社「セメントプロデュースデザイン」を設立。2011年からは、全国各地の町工場や職人との協業プロジェクト「みんなの地域産業協業活動」を始め、500を超える工場や職人たちの情報連携も進めている。	北川氏
④	7月15日 第3金曜日	17:30~18:20	教育	大きなテーマを過分にも頂戴いたしました。時代の潮流にあわせて主観、客観を織り交ぜながら自身のテキスタイル創作の 流れとも照らして語る50分とし、この後に続く対談も合わせてご参加いただければと思います。ご参加くださる皆様には、新たな視点を発見していただけるようお願いながらお話しさせていただきます。どうぞよろしく願い致します。	藤原大氏		DDI代表取締役/多摩美術大学教授	大高氏
		18:30~19:30	教育	「高等教育におけるテキスタイル教育で求められているもの、これから求められるもの」をテーマに、春日泰浩氏、藤原大氏、田中孝明氏、コーディネーター：大高亨氏が、デスクッションを行う。それぞれの教育方針をベースに、テーマについて話し合い、未来のテキスタイル教育のあり方を探ります。	大高亨氏 田中孝明氏 春日泰浩氏	  	春日泰浩：早稲田国際ビジネスカレッジデザイン総合学科テキスタイルデザインコース学科長 TDA正会員(左) TDA執行委員 田中孝明：繊維造形作家/倉敷市立短期大学准教授(中央) 大高亨：テキスタイル作家/金沢美術工芸大学教授(右)	
⑤	8月24日 第4水曜日	17:30~18:20	ファブリックス	播州織ならではの自社ブランドについて、現在、過去、未来を捉え新しい風として企画室、デザイナー採用に至り、その舵取りをした代表取締役の想いと経緯、都会から産地に入ったデザイナー自身のhatsutokiブランドの企画や販売についての生の声をお伝えします。	嶋田幸直・村田裕樹	 	嶋田幸直1957年西脇市生まれ。学卒後アパレル会社に就職後家業の播州織産元商社に入社、現在代表取締役社長。業界の苦境産地の縮小の中、構造的な変換の必要を感じ奮戦中。村田裕樹 1988年 東京都生まれ。大学在学中に服作りを開始。東京のブランド活動中に素材に興味を持ち全国の生地産地を回り2012年 島田製織株式会社入社、 hatsutokiのディレクター/デザイナーとして活動。	吉村氏
		18:30~19:20	ビジネス	テキスタイルデザインが先か？商品デザインが先か？鶏が先か？卵が先か？のような、禅問答ですが、地場産業の織物ブランドの事例や、OEMのモノ作り、自社ブランド発信の際の手法などを切り取りながら皆様と今のテキスタイル業界のブランディングを考察させていただきます。	鷺本 晴香		(株)Meta-Design-Development代表取締役。アパレルデザイナー、スタイリストを経て2005年法人化。ブランドの立ち上げやアパレルデザイン・繊維関連モノづくり支援事業を軸にする。企業や教育機関での講師も務める。	
⑥	9月21日 第4水曜日	17:30~19:20 途中10分休憩	ビジネス	一昨年前からの続くコロナ禍のなか、「繊維事業者として出来ることは何か？」テキスタイルデザインを中心に、複数の事業者が協力をし、「日本を元気にするブランドを創ろう!」をコンセプトに関西のファッション関連事業者19社(2022年3月現在)が集結し、「momode(モモデ)」を立ち上げた。複数事業者たちとの商品企画開発を含め、その発足から立ち上げ、発信、拡販を目指すその過程を、テキスタイルデザイン+プロデューサーである岡部氏とプロジェクト進行の立役者でもある松尾捺染株式会社社長松尾氏とともにご経験談を交えてお話しさせていただきます。	松尾捺染(株) 岡部圭子氏	 	松尾捺染(株) 代表取締役 松尾 治 1926年大阪船場で木版彫刻を生業として祖父が創業いたしました松尾盛進堂(現在の松尾捺染(株))を1985年に3代目として継承し、現在に至っております。先代(2代目)の父より欧州の捺染業界を見分するように指示を受け、1968年に渡欧し、機会を得て、ドイツのFachhochschule Reutlingenにて繊維化学捺染科でDiplom Ingenieur (FH)を取得しました。祖父が興したHand Madeのものづくりを、父が自動捺染化し、わたしが更にdigital化させ、お客様の要望に沿った形で会社を運営しております。 niko代表 デザイナーの経験を活かし、アトリエを持ちクリエイティブな活動をしている。その一つにデザイナー、プロデューサーとして、現在関西を中心に繊維事業者たちとともに「Zoo Project」のブランドを立ち上げる。オリジナルのプリントデザインで独自性のある世界観を作り出し、様々なアイテムを展開中。	北原氏

⑦	10月19日 第4水曜日	17:30~18:20	テキスタイル 染色	1856年にイギリスで合成染料が発明される以前のテキスタイル染色は全て天然染料によるものでした。天然染料と古代から伝わる伝統色についての概論を平易に解説しつつ、天然染料の色はなぜ「優しい」と言われるのか？天然染料は本当に地球や人にやさしいのか？といった命題についても話を進められればと思います。	青木正明氏		天然色工房tezomeya代表京都光華女子大学短期大学部准教授	大高氏
		18:30~19:20	服飾 染色	合成染料が主役である今の時代に、天然染料に関わる事業を続けている3企業様をお招きします。「なぜ天然染料なのか？」を主題としてパネルディスカッション形式で様々な視点からの情報共有を狙います。	①株式会社細尾 ②株式会社ウタニ ③有限会社シサム工房		①株式会社細尾 代表取締役会長 細尾真生 様（予定） ~伝統織物業 ②有限会社ウタニ 取締役社長 宇谷勝己 様（予定） ~天然染料を含めた染材料販売企業 ③有限会社シサム工房 ※ご出演者未定 ~フェアトレードによるエンカルファッション販売業	
⑧	11月16日 第水曜日	17:30~18:20	テキスタイル 産地	父が遺した織物工場をリノベーションして地域コミュニティの場「つくるよろこび ファブリカ村」を運営。その活動内容を紹介し、地場産業の麻織物をどう伝え、今に活かしているのか、地域ブランドとして地域の人々に認知されるための努力、体感体験を売るといった取り組み、テキスタイルデザイナーからの移り変わりをお話ししたいと思います。	北川陽子		TDA正会員 1982年 嵯峨美術短期大学デザイン科染織グループ卒業後、家業（北川織物工場）に就く。 1983年より湖東繊維工業協同組合の産地振興事業に参加。地場産業の普及活動に関わる。 1999年 北川織物工場内に耕工房Fabricaを併設 2009年 工場を改装し週末カフェギャラリー「つくるよろこび」ファブリカ村をオープン。 2010年 滋賀県のモノづくりを発信する「湖の国のかたち」を始動。「つくり手」と「つかい手」のつなぎ手を目指す。	吉村氏
		18:30~19:20	テキスタイル 産地	滋賀の麻織物の産地の現状をお伝えします。海外に向けての取り組みや地域に向けての産地ショップ運営の話、そして現在課題とされている廃棄繊維問題を意識して、倉庫に眠っていた生地を活用や麻の再生紙の研究開発についてお話してもらいます。	湖東繊維工業協同組合 メンバー（未定）	PHOTO	(未定) 追ってお知らせさせていただきます。	
⑨	12月14日 第水曜日	17:30~19:20 途中10分休憩	インテリア	コロナ禍になり、日本でもSDGsに関する皆さんの関心も大きくなっていると思います。ヨーロッパの壁紙もNON PVCや、環境に優しいインクを使っているブランドも増えてきている中、世界の視点から鑑みて、今後もっと日本のインテリア業界も対応しなければいけない問題だと思っています。中長期の視点も交え、達人が今思っている事をお話し頂きます。	濱本廣一氏		株式会社フィル代表取締役社長 1972年大阪市生まれ 高校を中退後、クロス職人として現場で経験を積む。 23歳で独立。内装仕上げ工事を請け負う 2000年に株式会社フィルを設立 同年「壁紙屋本舗」WEBショップオープン 2011年輸入壁紙専門店「WALPA」WEBショップオープン その他実店舗などを展開	小川氏
		(テーマ) 心で感じる日本古来の天然染料 (仮)						
(テーマ) 滋賀の麻織物産地が取り組むアップサイクル								
(テーマ) 「壁紙の達人が思うSDGsのインテリア」 (仮)								

セミナーの料金など詳細は、HP: <http://www.j-tda.jp/>にて追ってご案内させていただきます。

\*やむおえず、セミナーの内容や構成が変わる事もあります。

一般社団法人 日本テキスタイルデザイン協会